

令和5年度教育研究活動報告書

氏名	梅原(津村)怜花	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士(経営学)	職位	教授
専門分野	簿記、会計学、財務会計、会計史		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	財務会計論、会計学概論、基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰa、Ⅰb、専門演習Ⅱa、Ⅱb
大学院	簿記論特論、財務会計特論、研究指導1、研究指導2
II 研究活動	
現在の研究テーマ(3つまで)	
(1) 我が国における西洋簿記導入過程の研究	
(2) 会計システムの機能に関する歴史的研究	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R5・R4・R3	
R5〈論文〉「学問の近代化と実額としての『帳合之法』」『福沢諭吉年鑑』(一般社団法人福沢諭吉協会)第50号、57-68頁(単著)	
R3〈論文〉「コロナ禍におけるオンライン合同ゼミナールの可能性」『教職センター紀要』(尾道市立大学)第3号、92-101頁(共著)	
R2以前の主な研究業績	
(1)〈論文〉日本的会計記録制度としての伝票会計システムの発生と展開『国民経済雑誌』第214巻第2号、59-74頁、2016年(共著)	
(2)〈論文〉国立銀行の設立と銀行簿記：シャンド・システムの形成過程に関する一考察『日本簿記学会年報』第31号、29-37頁、2016年(査読付き、単著)	
(3)〈論文〉福沢による西洋簿記現地化の試み『企業会計』(特集 福沢諭吉の会計学：『帳合之法』と近代日本の幕開け)第68巻第3号、304-312頁、2016年3月(単著)	
(4)〈論文〉森島修太郎に見るアメリカ簿記書の影響『日本簿記学会年報』第30号、59-67頁、2015年(査読付き、単著)	
(5)〈論文〉『馬耳蘇氏記簿法』および『馬耳蘇氏複式記簿法』に関する一考察『日本簿記学会年報』第25号、49-57頁、2010年(査読付き、単著)(日本簿記学会奨励賞)	
(6)〈論文〉国立銀行の設立と『銀行簿記精法』シャンド・システム形成過程に関する一考察『日本簿記学会年報』第31号、29-37頁、2016年(査読付き、単著)(第31回全国大会 統一論題報告)	
(7)〈学会発表〉わが国における女性会計学者の現状と課題 日本会計研究学会スタディ・グループ報告、2015・2016年(共同)	
(8)〈著書〉会計研究者として活躍する女性たち 輝ける未来に向けて(部分執筆・共著)(中央経済社)、2017年	
(9)〈論文〉日本的会計記録制度としての伝票会計システムの発生と展開『国民経済雑誌』第214巻第2号(神戸大学)、59-74頁、2016年(共著)	
(10)〈論文〉日本における中小企業会計史『会計』第195巻第2号(森山書店)、167-179頁、2017年(共著、日本会計研究学会統一論題報告)	
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績) R3・R4・R5	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本簿記学会会員、日本簿記学会会員、日本会計史学会会員および財務担当幹事(～R1年9月) 監事(R1年9月～R4年9月再任)	